

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	青少年の元気と絆づくり支援事業 ～リフレッシュ・キャンプ～	担当部局庁	スポーツ・青少年局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度	担当課室	青少年課	青少年課長 勝山 浩司			
会計区分	一般会計	施策名	Ⅱ-3. 青少年の健全育成				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年7月29日東日本大震災復興対策本部決定)、中央教育審議会スポーツ・青少年分科会青少年の体験活動の推進の在り方に関する部会「主な意見」(平成23年9月12日)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災により、のびのびと活動できる環境が極めて限られている特定の被災地域の児童生徒等や被災により親を失った児童生徒の心身の健全育成及びリフレッシュを図るために、一定期間、外遊び、スポーツ及び自然体験活動等が出来る機会を提供する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	青少年教育施設等での自然体験や集団宿泊体験、スポーツやレクリエーション・文化活動などを通じた交流体験活動等の実施。 ・ 小中学校校庭に応急仮設住宅が建設されていて、屋外活動が制限されている児童生徒への支援 ・ 被災によって親を失った児童生徒等への支援 ・ 未就学児と保護者が参加可能なファミリーキャンプの実施 等						
実施方法							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算					1,268
		補正予算					
		繰越し等					
		計					1,268
		執行額					
	執行率 (%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本事業は、のびのびと活動できる環境が極めて限られている特定の被災地域の児童生徒等や被災により親を失った児童生徒等の心身の健全育成及びリフレッシュを図ることを目的としており、定量的な成果目標を示すことは困難である。	成果実績	%				
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	当該事業参加予定者数	活動実績(当初見込み)	人				※24年度の活動見込である (37,000)
単位当たりコスト	34,271(円/人)	算出根拠	○ 参加者1人あたりに係るコスト X/Y=34,271(円/人) X:1,268,040,000円(当該事業委託額) Y:37,000人(当該事業参加予定者数)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	初等中等教育等振興事業委託費		1,268百万円	[東日本大震災復興関連事業 要求額1,268百万円]			
計		1,268百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・「スポーツ・青少年局分科会青少年の体験活動の推進の在り方に関する部会「主な意見」(平成23年9月12日)」において、「日常生活の中で多くのストレスを抱えることとなった青少年に、自然の中等で様々な体験をさせることは心身の健全育成及びリフレッシュに有効な手段である」と提言されており、一定期間、外遊び、スポーツ及び自然体験活動等が出来る機会を提供する本事業は、効果的な事業である。</p> <p>・民主党「東日本大震災を考える会」及び岩手県等の被災自治体より被災地の子どもたちの心身のリフレッシュを図るための支援について要望があるところであり、国民のニーズに応えるものである。</p> <p>・阪神・淡路大震災において、児童生徒の心の健康に及ぼす影響が見られ、東日本大震災においても同様な影響があると考えられる中で、自然体験活動等を通じた心身の健全育成及びリフレッシュを図る本事業は、必要不可欠な事業である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業は、定量的な成果目標を立てることは困難であるが、事業効果について適切に検討されており、費用の精査も十分行われている。</p> <p>広く国民のニーズに応える事業でもあり、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算場において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
1,268百万円

【一般競争入札・委託】

A リフレッシュ・キャンプの実施
民間団体等
(全1団体 1,268百万円)

青少年教育施設等での自然体験や集団宿泊体験、スポーツやレクリエーションなどを通じた交流体験活動等の実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A. リフレッシュ・キャンプの実施			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	@1,268,040千円×1団体	1,268			
計		1,268	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0